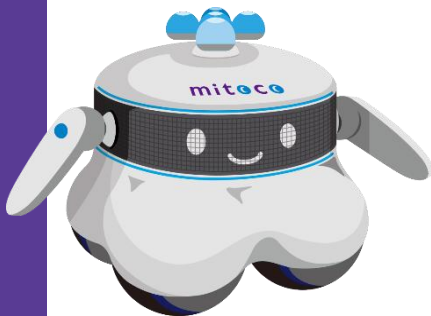


mitoco

mitoco インストール初期設定 マニュアル

Ver. 1.1



變更履歷

[illegible]

目次

はじめに	5
1 導入前準備	8
1.1 活動カスタム項目の利用状況確認.....	8
1.2 Chatter フィード追跡の有効化.....	9
1.3 メモの有効化設定.....	10
1.4 「コンテンツ配信機能をユーザに対して有効化可能」の有効化	11
1.5 リリース更新の確認	12
2 パッケージのインストール	13
2.1 インストールの注意事項.....	13
2.2 インストール手順	13
3 各機能の設定	16
3.1 ワークフロー向け設定手順:レコードロック設定	16
3.2 ワークフロー向け設定手順:カスタム設定	17
3.3 ToDo 向け設定手順:共有設定	19
3.4 カレンダー向け設定手順:カレンダービューの共有設定	21
3.5 その他の設定:Salesforce CRM Content 設定	23
3.6 その他の設定:翻訳設定	24
3.7 その他の設定:日本語検索の設定	26
3.8 その他の設定:Aura アクション設定	27
4 mitoco 起動設定.....	28
4.1 既存アプリケーションヘタブ追加.....	31
4.2 既存アプリケーションにコンポーネントを追加.....	33
4.3 既存アプリケーションにユーティリティバーを追加.....	37
5 モバイル利用設定.....	41
5.1 モバイル利用設定① カスタム設定.....	41
5.2 モバイル利用設定② リモートサイトの設定.....	43
5.3 モバイル利用設定③ モバイルアプリケーションの入手.....	44
5.4 モバイル利用設定④ PIN セキュリティ機能	44
6 ユーザの登録、設定	45
6.1 システム管理者向け設定.....	45
6.2 新規ユーザの登録	47

6.3 権限セットの付与.....	51
6.4 mitoco 利用ライセンスの付与	55
7 mitoco の運用管理.....	59
7.1 ユーザの無効化.....	59
7.2 ユーザのパスワード変更.....	61
7.3 ライセンス数管理.....	63
7.4 ストレージ利用量管理	64
8 その他	65
8.1 バージョンアップについて.....	65

はじめに

■ 本ドキュメントについて

本ドキュメントでは、管理者向けに mitoco の初期設定の手順をご説明しています。

■ ドキュメント構成

mitoco のドキュメントは、以下で構成されています。

- **mitoco インストール初期設定マニュアル ※本書**
<https://d.terrasky.jp/mitocoInstallManual>
- mitoco 初期設定パッケージインストールマニュアル
<https://d.terrasky.jp/mitocoPackageInstallManual01>
- mitoco アプリケーション管理者マニュアル
<https://d.terrasky.jp/mitocoAdminManuala>
- mitoco カレンダー初期設定マニュアル
<https://d.terrasky.jp/mitocoCalSetUpManual>
- mitoco 申請 インストール・初期設定マニュアル
<https://d.terrasky.jp/mitocoShinseiInstallManual>

設定完了後、実際に業務で使用する手順は、「mitoco ユーザガイド」をご覧ください。

mitoco ユーザガイド(<https://d.terrasky.jp/mitocoUserGuide>)

■ お読みください

- ・ mitoco は、Salesforce 上で動作する AppExchange アプリです。
- ・ 設定は、Salesforce 組織の管理者権限を持つユーザーアカウントで行うことを想定しています。
- ・ mitoco の初期設定を行うにあたり、Salesforce の操作が必要となります。
- ・ mitoco の管理者は、Salesforce の administrator 資格相当の知識を持っていることを推奨しています。
- ・ 弊社では、mitoco にかかわる操作について、サポートいたします。それ以外の Salesforce に関する操作や設定などについては、mitoco の標準サポート対象外となる範囲もございます。
- ・ すでに運用されている Salesforce 組織をご利用の場合は、Sandbox(検証環境)にインストールして動作確認していただいた後、本番環境へ提供いただくことを推奨しております。
- ・ テラスカイでは、mitoco 導入ご担当者様、システム管理者様に向けた mitoco のアプリケーションパッケージのインストールから各アプリケーションの基本的な使用方法までを、ハンズオントレーニングで学べる「管理者向け mitoco トレーニング(有償)」をご用意しています。ぜひご受講ください。
- ・ mitoco をインストールされたお客様は、以下の利用規約に同意していただいたものとみなします。

■ 利用規約

- ・ 本契約のお客様:

https://www.terrasky.co.jp/files/mitoco_privacyterms.pdf

- ・ トライアルのお客様:

https://terrasky.my.Salesforce.com/sfc/p/10000000DWyn/a/5F000000UurF/NpAiGdksdmN_8W4GaTbqjaYwrtTd6QJGWlfZjlZzq6w

注意

- Salesforce の設定や知識に不安がある場合は、株式会社テラスカイのプロフェッショナルサポート(有償スポット対応)を推奨します。テラスカイサポートセンターにお問い合わせください。

■ 「mitoco」でできること

Salesforce をプラットフォームとしたクラウド時代のグループウェアです。UI に優れたカレンダーや掲示板、複雑な組織に対応可能なワークフローなどコミュニケーションを円滑にし、生産性を向上するアプリを Salesforce で提供しています。ワンプラットフォームへの情報集約により、コミュニケーション量の可視化を実現します。

■ 推奨動作環境

デスクトップ・対象ブラウザ

- ・ Mozilla FireFox の最新安定版
- ・ Google Chrome の最新安定版
- ・ Microsoft Edge の最新安定版

■ ご利用前提

mitoco の利用には、Salesforce へのログインが必要です。

企業の管理者より提供された、ログイン URL、ログインユーザー名、ログインパスワードをご確認ください。

■ ライセンスについて

mitoco は Salesforce の OEM ライセンスで提供されます。

Salesforce の OEM ライセンスで利用可能な範囲のオブジェクトと mitoco のオブジェクトのみを使用する場合は Salesforce のライセンスの契約がなくてもご利用いただけます。

商談などの Salesforce のオブジェクトを利用する場合、オブジェクトに応じた Salesforce ライセンスや Salesforce Platform ライセンスが必要になります。

■ 表記の定義について

本マニュアルでは、次の表記を使用します。

表記	呼び名	備考
()	丸カッコ	直前の内容の説明、補足説明で使用する
「」	かぎカッコ	引用、語句の強調、設定値やメッセージを示している
『』	二重かぎカッコ	書名を示している
[]	角カッコ	メニュー、ボタンなどの名称、および設定項目を示している

■ お客様へのお願い

- ・ 本ドキュメントを無断で複製、転載することを禁止します。
- ・ 本ドキュメントは万全を期して作成されていますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- ・ 本ドキュメントに記載されている内容は、改善のため予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本ドキュメントに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、弊社はその責を負いません。

■ 商標について

- ・ mitoco、TerraSky、TerraSky ロゴ、テラスカイは、株式会社テラスカイの商標または登録商標です。
- ・ Salesforce、Sales Cloud、およびその他は Salesforce, Inc.の商標であり、許可のもとで使用しています。
- ・ 本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

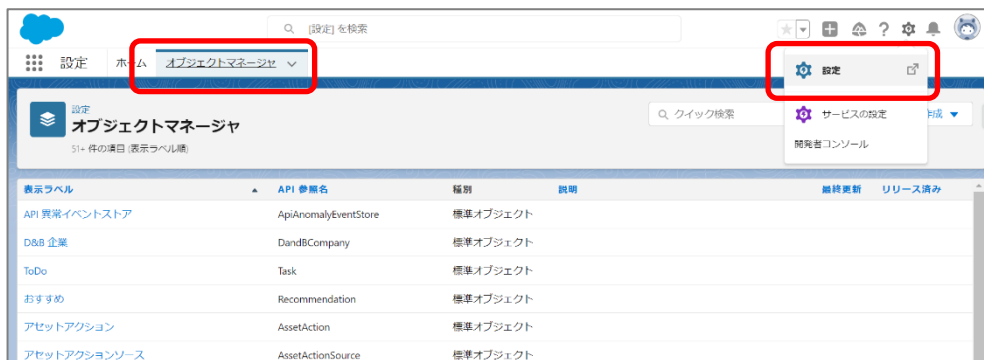
1 導入前準備

1.1 活動カスタム項目の利用状況確認

mitoco のインストールには活動カスタム項目に 8 つの空きが必要です。導入前に、以下の手順でカスタム項目に空きがあるかを確認します。

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。

左上「オブジェクトマネージャ」をクリックします。



- 2 右上のクイック検索ボックスに「活動」と入力します。

- 3 検索抽出された[活動]をクリックします。



左サイドメニューから[オブジェクト制限]をクリックします。

カスタム項目の利用状況が 92 以下であることを確認します。

92 以上の場合は不要なカスタム項目を削除して、空きが 8 以上になるようにします。

項目とリレーション	API 参照名	種別	説明	最終更新	リリース済み
API 異常イベントストア	ApiAnomalyEventStore	標準オブジェクト			
D&B 企業	DandBCompany	標準オブジェクト			
ToDo	Task	標準オブジェクト			
おすすめ	Recommendation	標準オブジェクト			
アセットアクション	AssetAction	標準オブジェクト			
アセットアクションソース	AssetActionSource	標準オブジェクト			

詳細	オブジェクト制限	クイック検索
項目とリレーション	4 件の項目 (アイテム欄)	
ボタンとリンク	VLOOKUP 関数	
オブジェクト制限	カスタムリレーション項目	
検索レイアウト	カスタム項目	
リストビューボタンレイアウト	有効なルックアップ検索条件	

1.2 Chatter フィード追跡の有効化

Chatter フィード追跡で ToDo のフィード追跡の有効化を設定します。

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「フィード追跡」と入力し、[フィード追跡] の順にクリックします。
- 3 フィード追跡画面が表示されます。



- 4 オブジェクト一覧から[ToDo]をクリックします。
- 5 [フィード追跡の有効化]チェックボックスにチェックを入れ、[保存]をクリックします。



1.3 メモの有効化設定

メモの有効化設定をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「メモ」と入力し、「メモの設定」の順にクリックします。

メモの設定画面が表示されます。



- 3 「メモを有効化」チェックボックスにチェックを入れ、「保存」をクリックします。

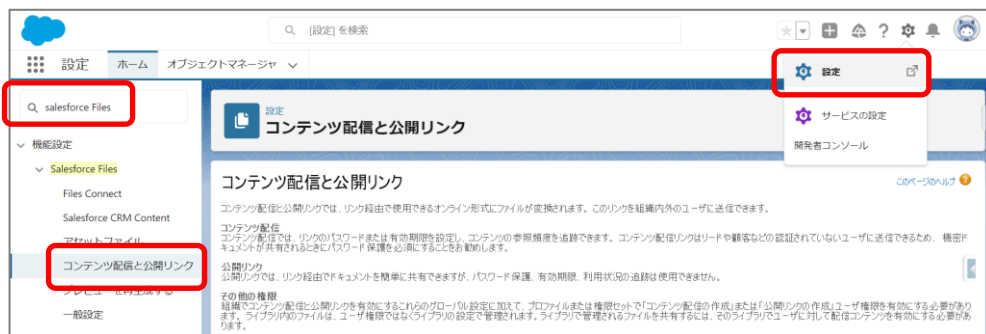


1.4 「コンテンツ配信機能をユーザに対して有効化可能」の有効化

「コンテンツ配信機能をユーザに対して有効化可能」の有効化を設定します。

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「Salesforce Files」と入力し、[コンテンツ配信と公開リンク] の順にクリックします。

コンテンツ配信と公開リンク画面が表示されます。



- 3 [コンテンツ配信機能をユーザに対して有効化可能]にチェックが入っているか確認します。

チェックが入っている場合は対応不要です。次の手順に進んでください。

チェックが入っていない場合、「コンテンツ配信機能をユーザに対して有効化可能」にチェックを入れて[保存]をクリックします。

その他の設定は変更不要です。



1.5 リリース更新の確認

mitoco 製品は Salesforce プラットフォーム上で動作するため、Salesforce の設定に影響を受けることがあります。「リリース更新」は Salesforce より定期的に追加・更新されており、インストールするタイミングにより無効化が必要なものがあります。

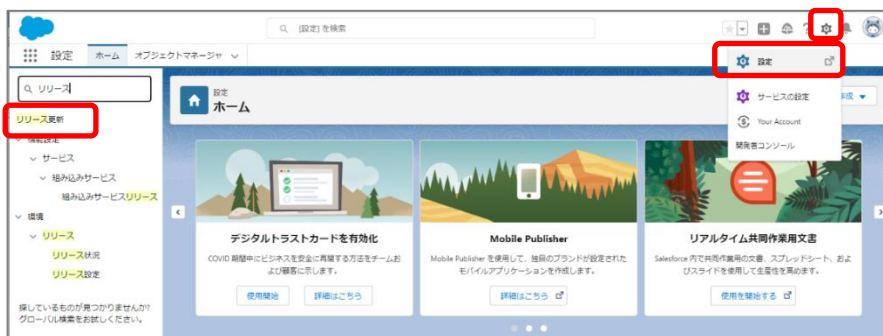
現在のバージョンの mitoco 対応状況は以下で公開しております。

「無効」の指定があるものについては、無効の状態でご利用ください。

mitoco:リリース更新の対応状況

<https://d.terrasky.jp/mitocoReleaseUpdateStatus>

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「リリース」と入力し、[リリース更新]の順に選択します。



- 3 「要対応」タブにて、以下を確認します。

- ・無効化が必要なリリース更新が表示されている
- ・[使用開始]がある(使用開始になっていない無効な状態)



重要

- [使用開始]をクリックしてしまうと有効になってしまいますので、ご注意ください。

2 パッケージのインストール

2.1 インストールの注意事項

mitoco はインストールパッケージが複数に分かれております。

インストール URL は、本資料をお送りしたメールに添付されていますのでご確認ください。

不明な場合は、テラスカイサポートセンターまでお問い合わせください。

■ mitoco に関するお問い合わせ(テラスカイサポートセンター)

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

⚠ 注意

最初に「mitoco(Base)」のインストールをする必要があります。「mitoco(Base)」をインストールせずに他のパッケージをインストールした場合、正常にインストールができません。

2.2 インストール手順

mitoco パッケージのインストールを実施します。

- 1 案内されたインストール URL のうち「mitoco(Base)」の URL にアクセスします。
- 2 [管理者のみのインストール]を選択し、[インストール]をクリックします。

① 補足

- [インストール]をクリックした後に、Salesforce のログインを求められる場合があります。その際には、mitoco をインストールする Salesforce 組織にログインしてください。



インストールが開始されます。しばらくしたら完了画面、または時間がかかる旨の画面が表示されますので、インストール完了までしばらくお待ちください。

インストールが完了したら、その旨のメールが通知されます。



インストール mitoco(Base)

コメント作成者 TerraSky Co.,Ltd.

**インストールおよび管理のみへのアクセスの許可...**

パッケージ「mitoco(Base)」のインストールに成功しました

外部 受信トレイ x

 **support@salesforce.com** <support@salesforce.com> 17:31 (11 分前) ☆ ↶ ⋮

To: [redacted]

パッケージ「mitoco(Base)」のインストール要求は正常に処理されました。

組織: 株式会社 [redacted]
ユーザ: システム 管理者 ([redacted])
パッケージ: mitoco(Base) ([redacted])

カスタムオブジェクト、カスタムレポートタイプ、ワークフロールールなどの一部のコンポーネントが組織で使用可能になるには、まずパッケージリリースプロセスを使用して有効にする必要があります。

...

① 補足 「インストール失敗」と出る場合

- 導入事前準備に誤りがある可能性がございます。事前準備を再度ご確認ください。解決しない場合はテラスカイサポートセンターまでお問い合わせください。
■ **mitoco** に関するお問い合わせ(テラスカイサポートセンター)
<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

mitoco(Base)のインストールが完了したら、同様の手順で「mitoco(Collaboration)」および「mitoco アプリケーション (mitoco Application)」、「mitoco Work Base」、「mitoco 申請(mitoco Workflow)」をインストールしてください。

- 3 インストールが完了したら、「インストール済みパッケージ」をご確認します。[設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 4 クイック検索ボックスに「インストール済みパッケージ」を入力し、表示された[インストール済みパッケージ]をクリックします。

インストール済みパッケージをご確認ください。



📖 参照 最新バージョン確認方法

- mitoco ユーザガイド (<https://d.terraSky.jp/mitocoUserGuide/>)
[9.更新履歴] – [バージョン情報]をご確認ください。

Ternary

スペース▼

mitoco User Guide

このスペースを検索

ページ / mitoco User Guide Home / 9. 更新履歴

バージョン情報

作成者 Web Master, 最終更新日 7/26, 2022

① 組織にインストールされている mitoco のバージョンを確認する方法については、**全般: mitocoのバージョンの確認方法** をご参照ください。

製品バージョン	リリース日	mitoco			Android mobile App					
		mitoco(Base)	mitoco (Collaboration)	mitoco(Approval)	掲示板	ToDo	トーク	カレンダー	ワークフロー	掲示板
Ver 17.0.1	2022年07月27日 (水)	20220727.0	20220727.0	-	-	-	-	-	-	-
Ver 17.0.0	2022年06月28日 (火)	20220628.0	20220628.0	20220628.0	17.0.0	17.0.0	17.0.0	17.0.0	17.0.0	17.0.0
Ver 16.0.0	2022年01月31日 (月)	20220131.0	20220131.0	20220131.0	16.0.0	-	16.0.0	16.0.0	-	16.0.0
Ver 15.0.0	2021年09月28日 (火)	20210928.0	20210928.0	20210928.0	-	-	15.0.0	15.0.0	15.0.0	-
Ver 14.0.0	2021年06月02日 (水)	20210602.0	20210602.0	20210602.0	14.0.0	-	14.0.0	-	14.0.0	14.0.0

3 各機能の設定

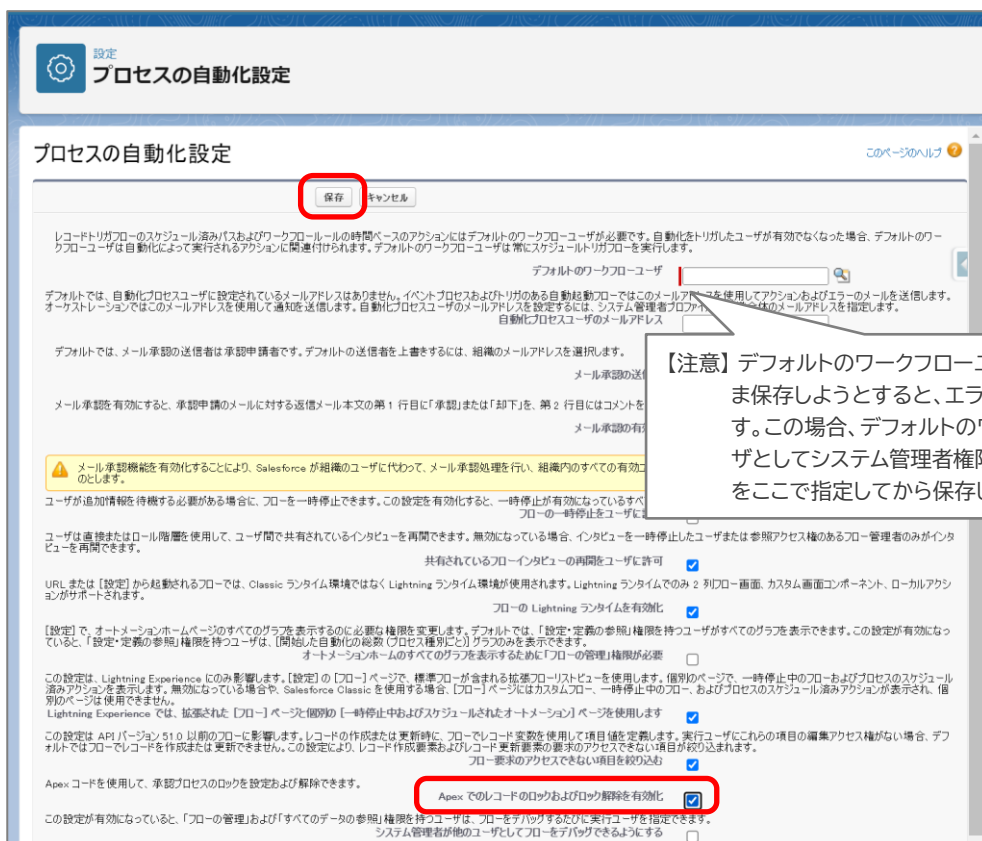
3.1 ワークフロー向け設定手順:レコードロック設定

ワークフローで申請後の承認内容を編集されないようにする「レコードロック」の設定をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「プロセスの自動化」と入力し、「プロセスの自動化設定」をクリックします。



- 3 プロセスの自動化設定画面が開きます。画面下部にある「Apex でのレコードのロックおよびロック解除を有効化」にチェックを入れて「保存」をクリックします。



3.2 ワークフロー向け設定手順:カスタム設定

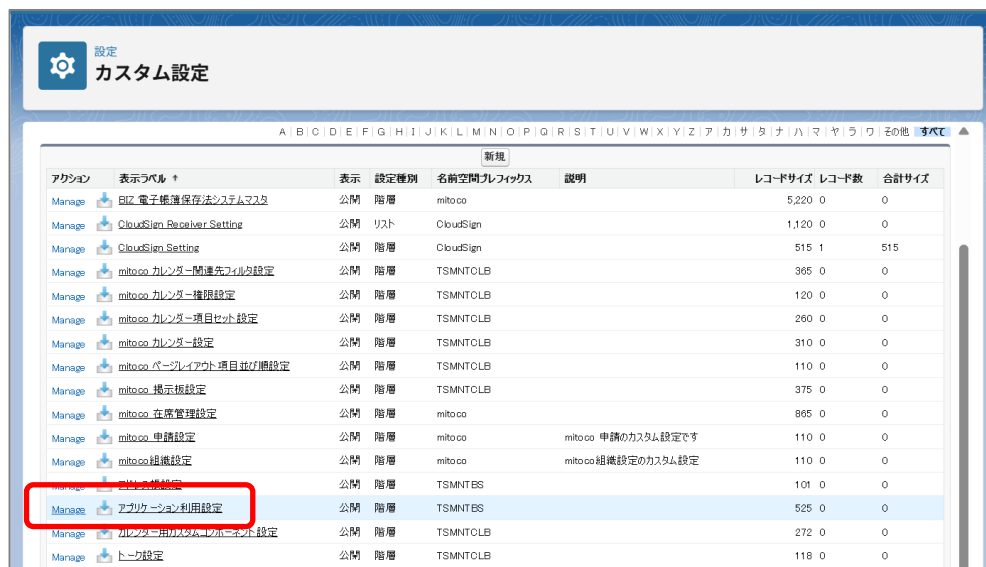
ワークフローを利用する場合に必要な設定をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」→「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「カスタム設定」と入力し、[カスタム設定] をクリックします。

カスタム設定画面が表示されます。



- 3 カスタム設定画面にある、「アプリケーション利用設定」の[Manage]をクリックします。



4 アプリケーション利用設定画面にある[新規]をクリックします。

設定
カスタム設定

カスタム設定
アプリケーション利用設定

カスタム設定がリストの場合、【新規】をクリックして新しいデータセットを追加します。たとえば、アプリケーションに国コードの設定がある場合、各セットに国名やダイヤルコードを含みます。

カスタム設定が階層の場合、ユーザー、プロフィール、または組織レベルに対してデータを追加できます。たとえば、特定のユーザーがアプリケーションを実行しているかどうか、特定のプロフィールか、または単に一般的にユーザーによって適用される値を表示する場合です。

新規

▼ デフォルトの組織レベルの値

ビュー: [すべて] ▼ 新規ビューの作成

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ウ | その他 [すべて]

設定所有者 +

表示するレコードは初めません。

新規 保存場所

5 アプリケーション利用設定 の編集画面で、「ワークフローアイコンの遷移先を mitoco 申請にする」にチェックをいれます。

設定
カスタム設定

アプリケーション利用設定の編集

作成した項目の値を入力します。このデータは、アプリケーションにキャッシュされます。

アプリケーション利用設定 の編集 保存 キャンセル

アプリケーション利用設定 の情報

保存場所

(モバイル用) イベントログ収集可否 ☒

(モバイル用) Crashlytics 使用可否 ☒

アプリケーション設定画面に組織団を表示する ☐

利用アプリケーション(mitoco Mobile 用)

初期設定ボタンを指定する(mitoco Mobile 用)

ワークフローアイコンの遷移先を mitoco 申請にする ☒

利用アプリケーション

外部アプリケーション通知表示 ☐

ログアウト表示 ☒

6 [保存]をクリックします。

3.3 ToDo 向け設定手順:共有設定

ToDo で、他人の共有タスクが表示されないようにするために、共有設定を変更します。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。

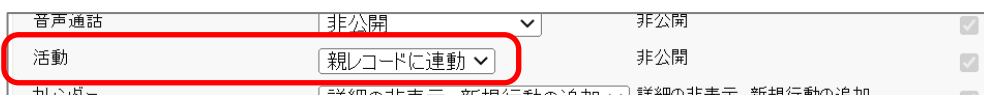
左上のクイック検索ボックスに「共有設定」と入力し、「共有設定」をクリックします。



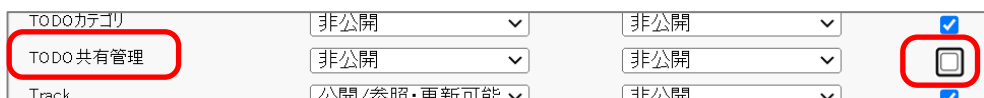
- 2 共有設定画面の「編集」をクリックします。



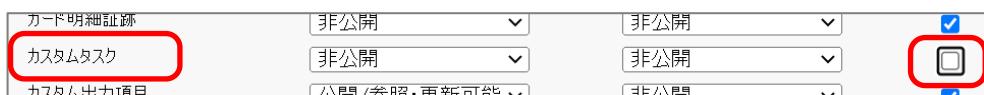
- 3 「活動」のデフォルトの内部アクセス権を、「非公開」から「親レコードに連動」へ変更します。



- 4 「TODO 共有管理」の「階層を使用したアクセス許可」のチェックをはずします。



- 5 「カスタムタスク」の「階層を使用したアクセス許可」のチェックをはずします。



6 画面中央に表示されている[保存]をクリックします。

組織の共有設定の編集

組織全体のデフォルトの共有ルールを設定してください。これらのデフォルト値を変更すると、すべての共有ルールが再適用されます。この操作はシステムリソースと時間が必要となります。オブジェクトを非公開に設定すると、レコードはレコード所有者とロール階層内の上位ユーザーのみで閲覧できます。

オブジェクト	デフォルトの内部アクセス権	デフォルトの外部アクセス権	階層を伝
リード	公開/参照・更新・所有権の移行	非公開	☒
取引先および契約	公開/参照・更新可能	非公開	☒
注文	親レコードに連動	親レコードに連動	☒
取引先責任者	親レコードに連動	親レコードに連動	☒
アサット	親レコードに連動	親レコードに連動	☒

保存後、反映されるまで多少の時間がかかります。

反映が完了したら、メールで通知が届きます。

処理が完了しました 外部 ➡ 受信トレイ x

 **support@salesforce.com** <support@salesforce.com>
To: [redacted]

組織に対するデフォルトの共有設定の変更が正常に完了しました。

よろしくお願い申し上げます。
salesforce.com

3.4 カレンダー向け設定手順:カレンダービューの共有設定

カレンダーでユーザー一覧を表示する「ビュー」が不要な他ユーザから参照できないよう共有設定を変更します。

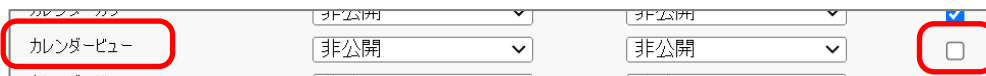
- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「共有設定」と入力し「共有設定」をクリックします。



- 3 共有設定画面の「編集」をクリックします。



- 4 「カレンダービュー」の「階層を使用したアクセス許可」のチェックをはずします。



5 画面中央に表示されている[保存]をクリックします。

組織の共有設定の編集

組織全体のデフォルトの共有ルールを設定してください。これらのデフォルト値を変更すると、すべての共有ルールが再適用されます。この操作はシステムリソースと時間が必要となります。オブジェクトを非公開に設定すると、レコードはレコード所有者とロール階層内の上位ユーザーのみで閲覧できます。

オブジェクト	デフォルトの内部アクセス権	デフォルトの外部アクセス権	階層を伝
リード	公開/参照・更新・所有権の移行 ▼	非公開 ▼	☒
取引先および契約	公開/参照・更新可能 ▼	非公開 ▼	☒
注文	親レコードに連動 ▼	親レコードに連動 ▼	☒
取引先責任者	親レコードに連動 ▼	親レコードに連動 ▼	☒
アセット	親レコードに連動 ▼	親レコードに連動 ▼	☒

保存後、反映されるまで多少の時間がかかります。

反映が完了したら、メールで通知が届きます。

処理が完了しました 外部 ➡ 受信トレイ x

 **support@salesforce.com** <support@salesforce.com>
To: [redacted]

組織に対するデフォルトの共有設定の変更が正常に完了しました。

よろしくお願い申し上げます。
salesforce.com

3.5 その他の設定:Salesforce CRM Content 設定

文書管理を利用するため、Salesforce CRM Content の設定をします。

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「Salesforce CRM」と入力し、[Salesforce CRM Content] をクリックします。



- 3 Salesforce CRM Content を有効化にチェックが入っていない場合は、[編集]をクリックし[Salesforce CRM Content を有効化]にチェックを入れます。

※他の項目のチェックは変更不要です。

※すでにチェックが入っている場合は設定不要です。次の手順に進んでください。



- 4 [保存]をクリックします。

3.6 その他の設定: 翻訳設定

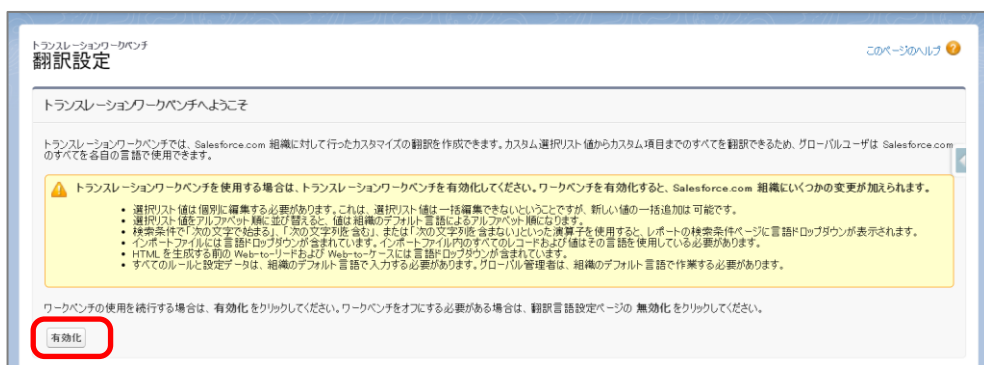
mitoco を日本語で利用するための翻訳の設定をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「翻訳言語」と入力し、「翻訳言語設定」をクリックします。

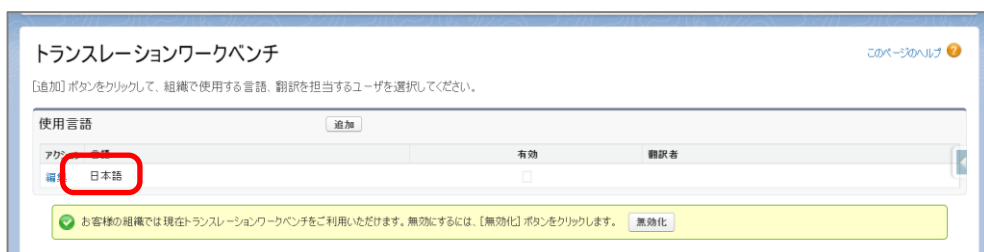


- 3 翻訳設定画面で「有効化」をクリックします。

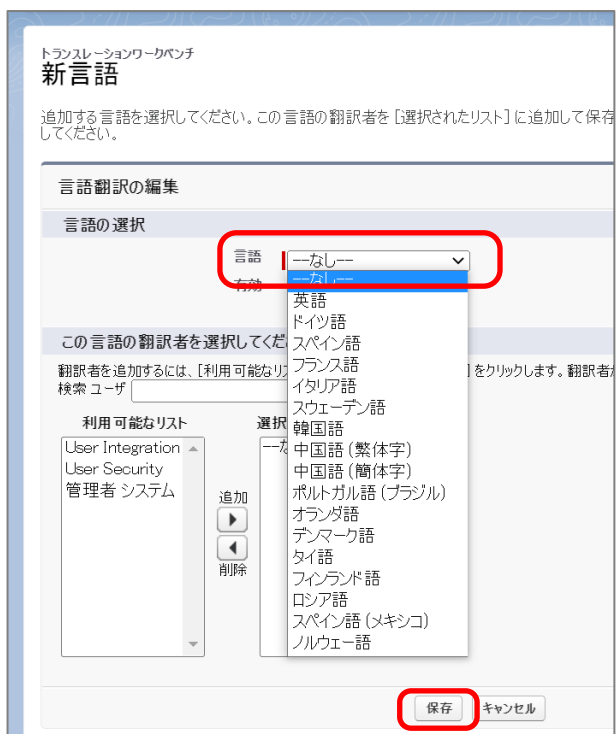
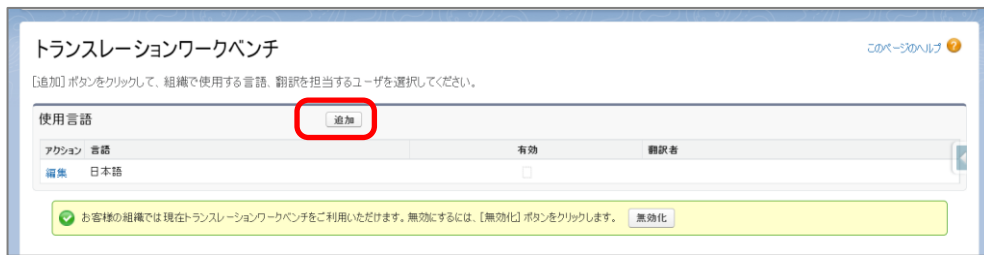
※「有効化」が表示されず、使用言語に「日本語」が表示されている場合は設定不要です。次の手順に進んでください



使用言語に「日本語」が表示されていれば、設定完了です。次の設定に進んでください。



使用言語に「日本語」がない場合は、[追加]をクリックして、言語の選択リストから日本語を選択してください。

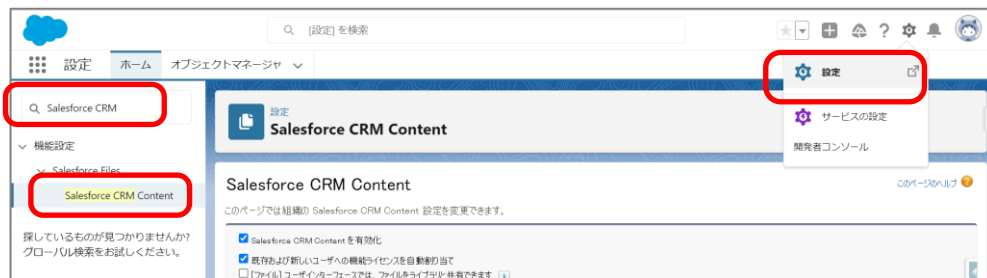


翻訳者の設定は不要です。最後に[保存]をクリックして設定完了です。

3.7 その他の設定:日本語検索の設定

mitoco 内で日本語の検索を最適化させるため、Salesforce の「検索の最適化」の設定をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「Salesforce CRM」と入力し、[Salesforce CRM Content] をクリックします。



- 3 「複数言語による検索と寄稿を有効化」にチェックを入れます。

他の項目のチェックは変更不要です。

すでにチェックが入っている場合は設定不要です。次の手順に進んでください。



- 4 「保存」をクリックします。

3.8 その他の設定:Aura アクション設定

mitoco の動作を安定させるため、Salesforce の「Aura アクション設定」の設定をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「セッション」と入力し、「セッションの設定」をクリックします。



- 3 「使用可能な XHR スロット全体で Aura アクションを効率的に一括処理する新しい Aura ボックスカーメカニズムを無効にして、最適なパフォーマンスを実現します。」にチェックを入れます。

他の項目は変更不要です。

すでにチェックが入っている場合は設定不要です。次の手順に進んでください。



- 4 「保存」をクリックします。

4 mitoco 起動設定

Salesforce 画面から mitoco を起動するには様々な方法があります。
方法 2 から 4 は、カスタマイズ設定を行うと利用できるようになります。

方法1：左上のアプリケーションランチャーから、「mitoco」を検索し、「mitoco」をクリックして、mitoco アプリケーション一覧からアイコンをクリックする

設定は不要です。

Classic タイプの UI をご利用の場合、「mitoco Classic」をご利用いただけます。
※ワークフロー機能の mitoco 申請は、Classic タイプではご利用になれませんので、LightningExperience タイプのご利用を検討ください。



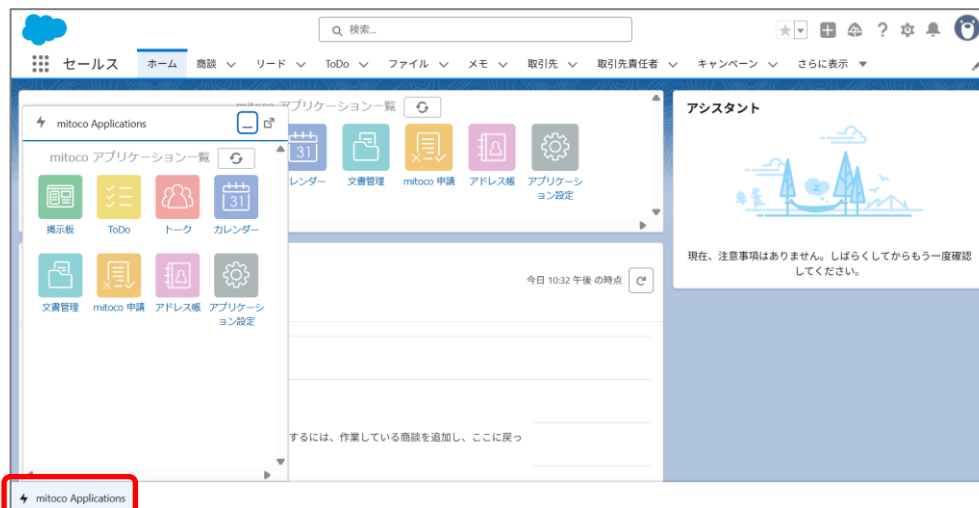
方法 2: 既存のアプリケーションに mitoco のタブを追加する。もしくはホーム画面にアイコンを配置する

次ページ以降の設定を実施してください。



方法 3: 左上のアプリケーションランチャーから、既存のアプリケーションを選択し、左下の「mitoco Applications」ユーティリティバーから起動する

「[4.3. 既存アプリケーションにユーティリティバーを追加](#)」手順を実施してください。



方法 4：左上のアプリケーションランチャーから、「mitoco」アプリケーションをクリックして、ホーム画面にあるアイコンをクリックする

設定用の「mitoco アプリケーションパッケージ」を用意しています。テラスカイサポートセンターにお問い合わせください。

■ mitoco に関するお問い合わせ(テラスカイサポートセンター)

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>



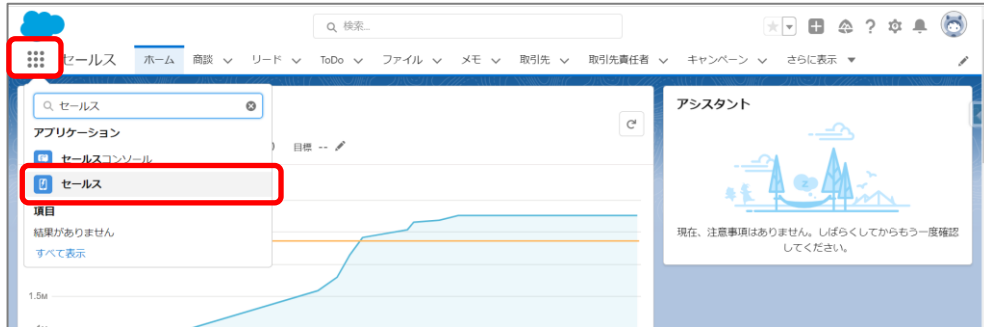
4.1 既存アプリケーションヘタブ追加

mitoco アプリケーションから mitoco をご利用いただく場合は、こちらの手順は不要です。

1 タブを追加したいホーム画面を開きます。

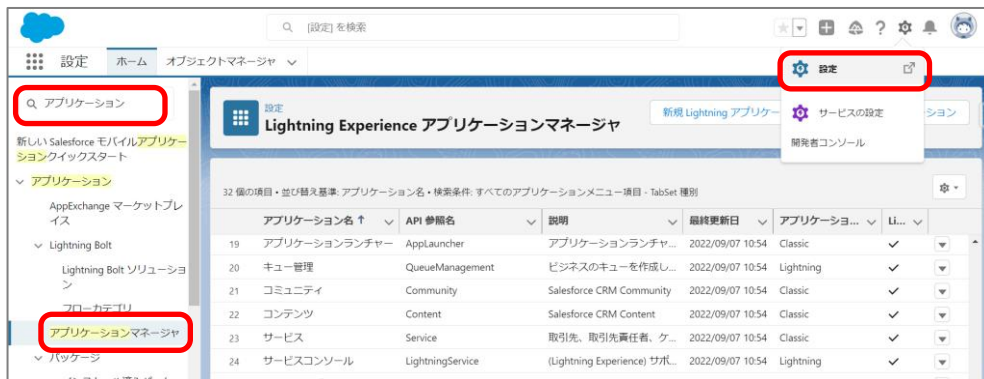
ここでは例として「セールス」アプリケーションにタブを追加します。

左上のアプリケーションランチャーから、「セールス」をクリックしたときに、mitoco 関係のタブが表示されるようにします。



2 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。

3 左上のクイック検索ボックスに「アプリケーション」と入力し、[アプリケーションマネージャ] をクリックします

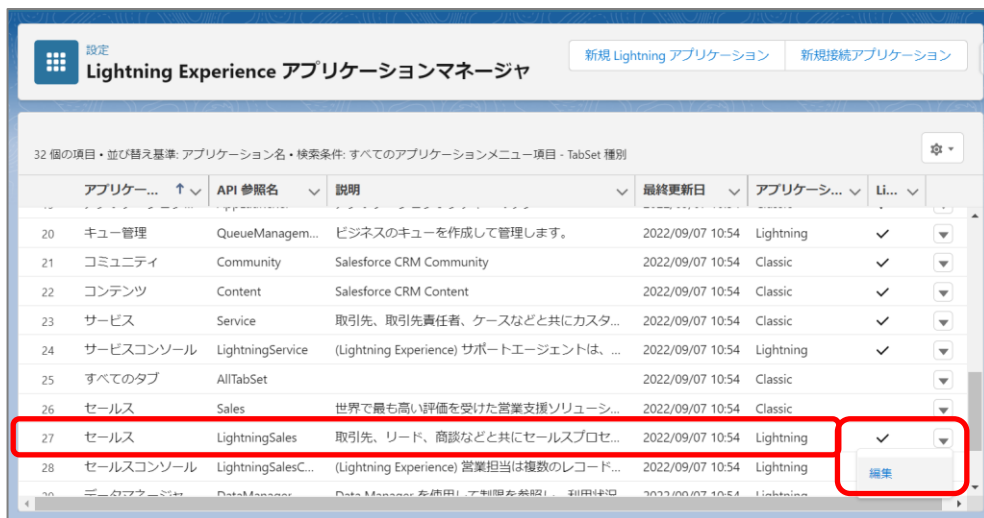


4 対象のアプリケーションを確認し、「▼」アイコンをクリックし、編集をクリックします。

本書では例として、「セールス」のアプリケーションを設定します。

※アプリケーション種別が「Lightning」であることを確認します。

※アプリケーション種別が「Classic」のものは Classic 専用のアプリケーションのため、LEX (Lightning)画面では使用できません。



5 アプリケーション設定画面で、「ナビゲーション項目」をクリックします。

検索ボックスに「mitoco」と入力し、左枠に mitoco の項目が表示されることを確認します。

6 追加したい項目を選択し、「▶」をクリックし、右枠に項目を追加します。

[▲][▼]で項目の順番を入れ替えることができます。



設定したら、左上の「←」をクリックして、設定のホーム画面に戻ります。

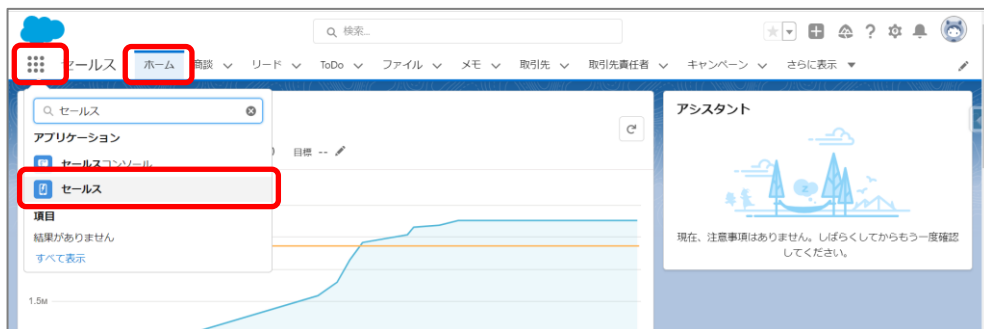
4.2 既存アプリケーションにコンポーネントを追加

mitoco アプリケーションから mitoco をご利用いただく場合は、こちらの手順は不要です。
mitoco アプリケーションを使用せずに、特定のアプリケーションにコンポーネントを追加して設定したい場合は、こちらの手順を参考にしてください。

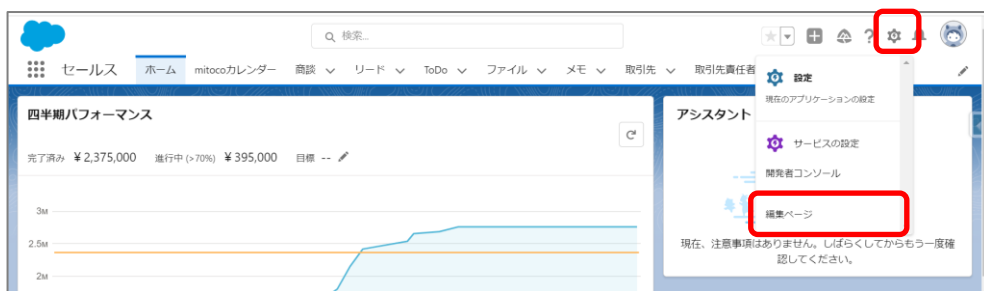
1 タブを追加したいホーム画面を開きます。

ここでは例として「セールス」アプリケーションのホームにコンポーネントを追加します。
左上のアプリケーションランチャーから、「セールス」をクリックしたときのホーム画面に、mitoco 関係のコンポーネントが表示されるようにします。

2 左上のアプリケーションランチャーから、「セールス」をクリックし、「ホーム」タブを選択します。



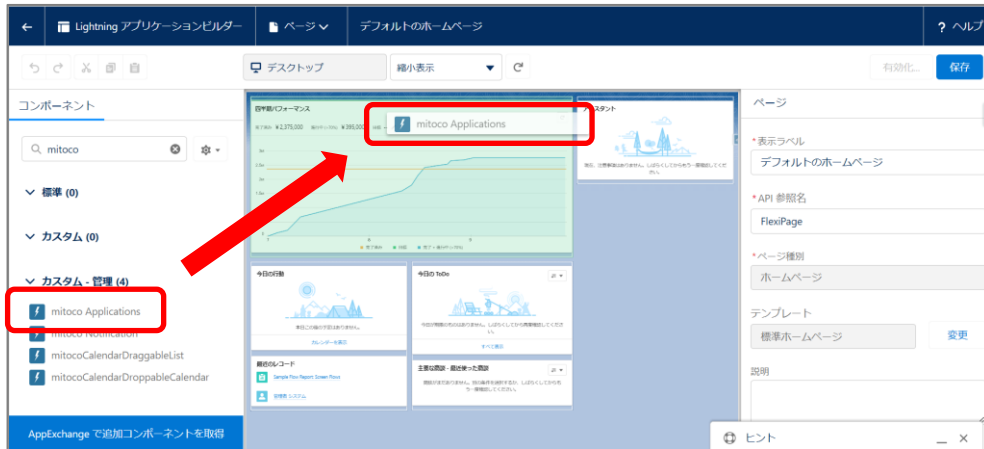
3 [設定(右上の歯車マーク)]-[設定] をクリックし、[編集ページ] をクリックします。



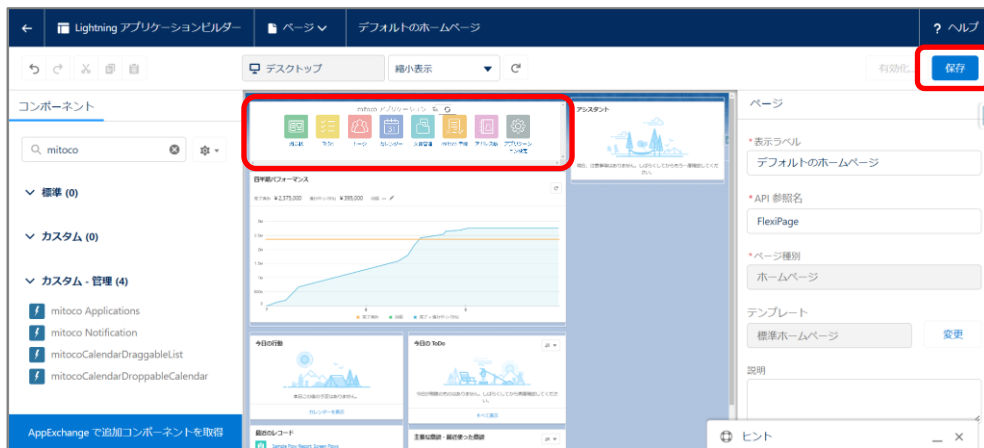
4 「Lightning アプリケーションビルダー」画面が表示されます。

検索ボックスに「mitoco」と入力し、左サイドのコンポーネント一覧から、「カスタム-管理」の下に表示される「mitoco Applications」が表示されることを確認します。

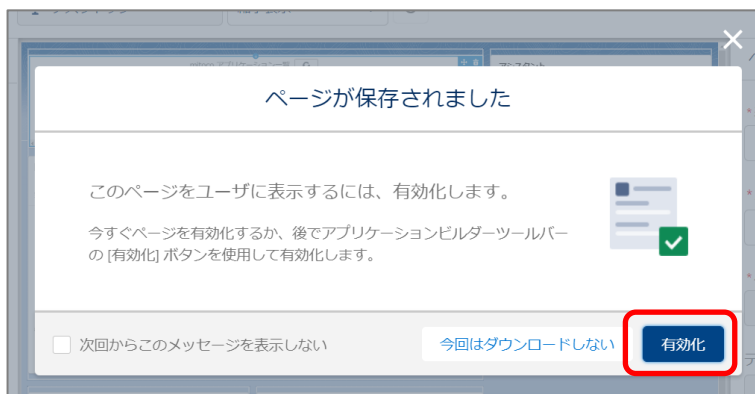
5 「mitoco Applications」をドラッグし、中央の任意の場所に配置します。



6 mitoco アプリケーション一覧が配置されたことを確認し、[保存]をクリックします。



ページが保存されたことを確認し、[有効化]をクリックします。



システム管理者による、組織の設定がアプリケーション毎や、アプリケーションとプロファイルの組み合わせに対して行われている場合、環境にあわせて任意で設定してください。
特に設定が行われていない場合は、「組織のデフォルトとして割り当て」をクリックします。



組織のデフォルトとして設定: デフォルトのホームページ画面が表示されます。[保存]をクリックします。



- 7 画面左上の「←」をクリックし、「セールス」のアプリケーションの「ホーム」画面に、「mitoco アプリケーション一覧」が表示されたことを確認します。



8

📖 参照 配置可能なコンポーネントについて

- アプリケーションホーム、ユーティリティバーに配置可能なコンポーネントについては、mitoco ユーザガイドを参照ください。

全般: Lightning アプリケーションのホームに mitoco を配置できますか

https://d.terrasky.jp/mitocoFAQid_126880504

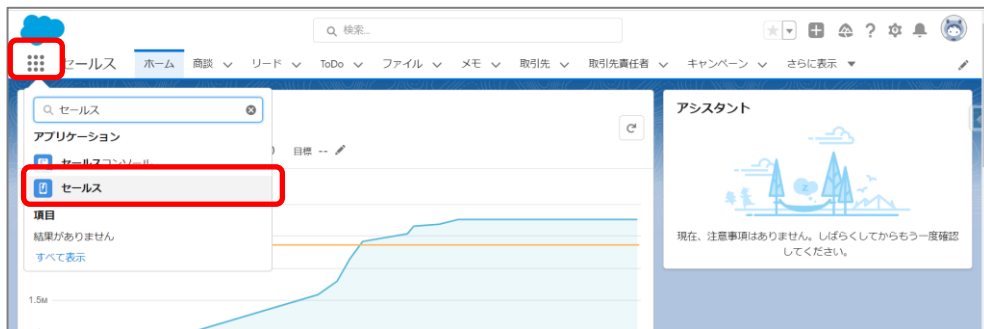
4.3 既存アプリケーションにユーティリティバーを追加

mitoco アプリケーションから mitoco をご利用いただく場合は、こちらの手順は不要です。
mitoco アプリケーションを使用せずに、特定のアプリケーションでユーティリティバーを表示されるように設定したい場合はこちらの手順を参考にしてください。

1 ユーティリティバーを追加したいホーム画面を開きます。

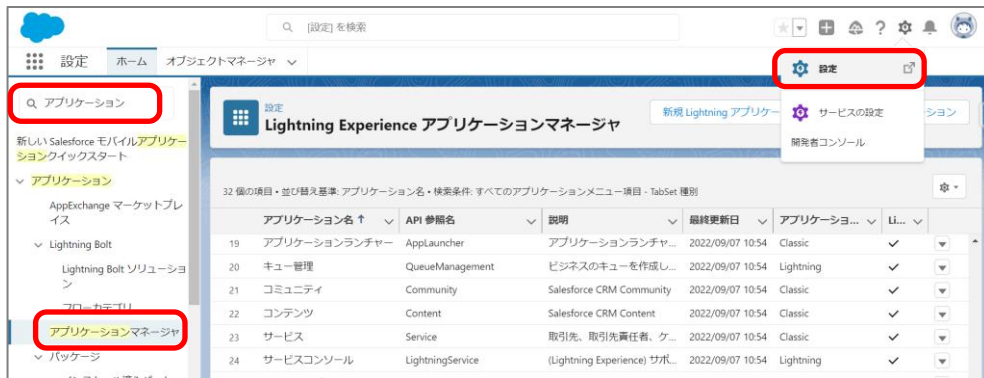
ここでは例として「セールス」アプリケーションにユーティリティバーを追加します。

左上のアプリケーションランチャーから、「セールス」をクリックしたときに、mitoco 関係のユーティリティバーが表示されるようにします。



2 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。

左上のクイック検索ボックスに「アプリケーション」と入力し、[アプリケーションマネージャ] をクリックします。

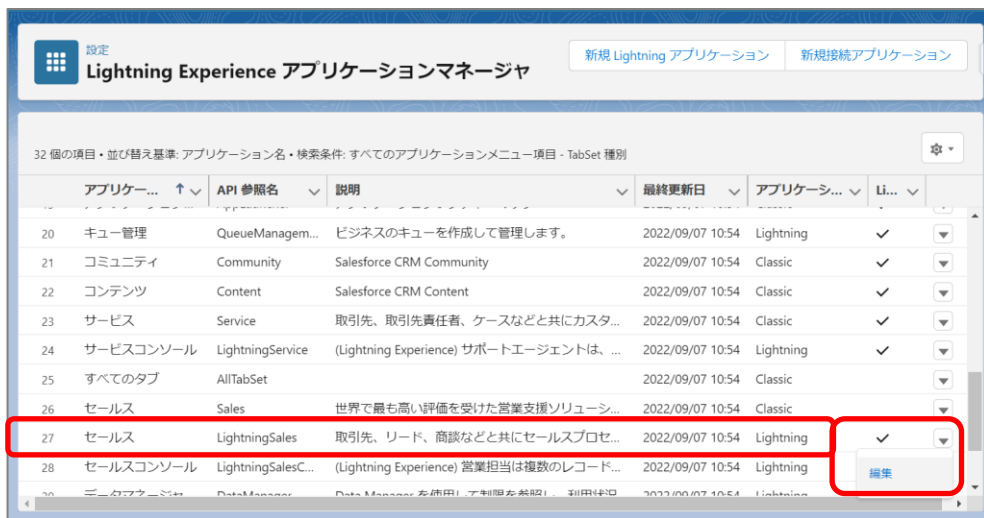


3 対象のアプリケーションを確認し、[▼]アイコンをクリックし、[編集]をクリックします。

本書では例として、「セールス」のアプリケーションを設定します。

※アプリケーション種別が「Lightning」であることを確認します。

※アプリケーション種別が「Classic」のものは Classic 専用のアプリケーションのため、LEX (Lightning)画面では使用できません。

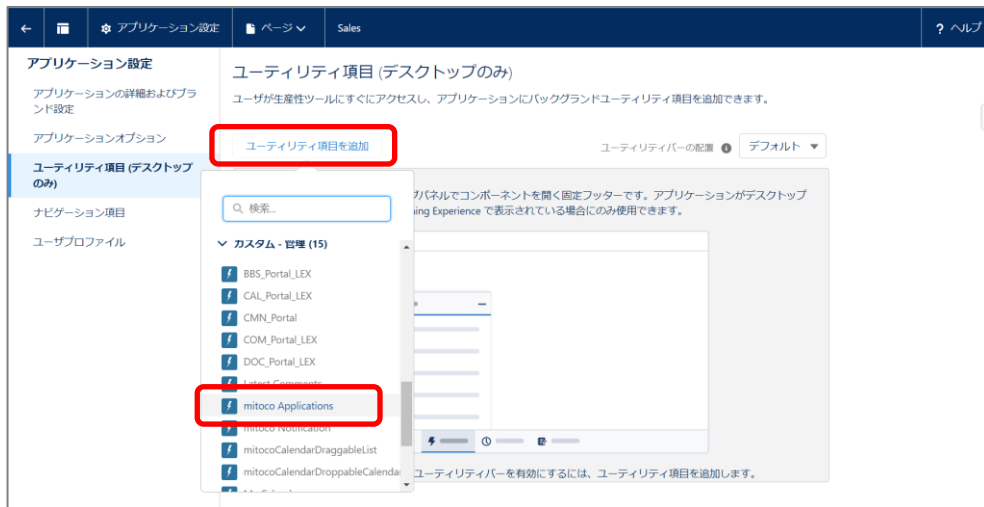


アプリケーション...	API 参照名	説明	最終更新日	アプリケーション...	Li...
20 キュー管理	QueueManagem...	ビジネスのキューを作成して管理します。	2022/09/07 10:54	Lightning	✓
21 コミュニティ	Community	Salesforce CRM Community	2022/09/07 10:54	Classic	✓
22 コンテンツ	Content	Salesforce CRM Content	2022/09/07 10:54	Classic	✓
23 サービス	Service	取引先、取引先責任者、ケースなどと共にカスタ...	2022/09/07 10:54	Classic	✓
24 サービスコンソール	LightningService	(Lightning Experience) サポートエージェントは、...	2022/09/07 10:54	Lightning	✓
25 すべてのタブ	AllTabSet		2022/09/07 10:54	Classic	
26 セールス	Sales	世界で最も高い評価を受けた営業支援ソリューション...	2022/09/07 10:54	Classic	
27 セールス	LightningSales	取引先、リード、商談などと共にセールスプロセ...	2022/09/07 10:54	Lightning	✓
28 セールスコンソール	LightningSalesC...	(Lightning Experience) 営業担当は複数のレコード...	2022/09/07 10:54	Lightning	
29 データマネージャ	DataManager	Data Manager を使用して制限を承認し、利用状況...	2022/09/07 10:54	Lightning	

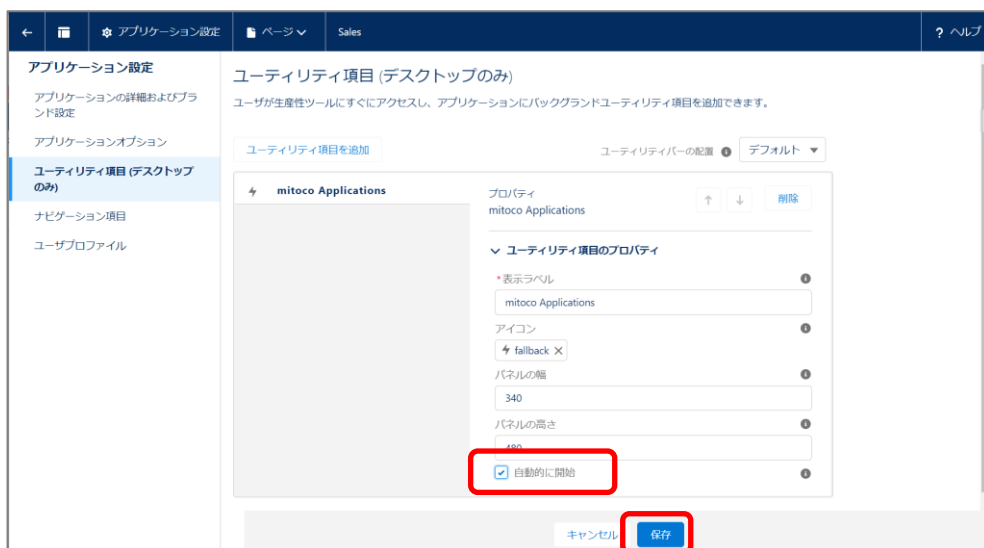
4 アプリケーション設定画面で、「ユーティリティ項目(デスクトップのみ)」をクリックします。



- 5 「ユーティリティ項目を追加」をクリックし、一覧から「mitoco Applications」を選択します。

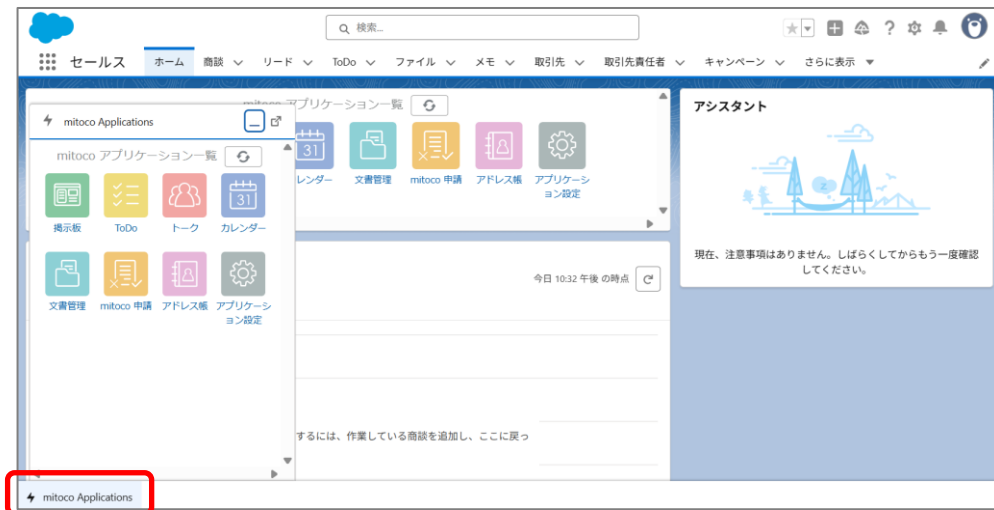


- 6 「mitoco Applications」が追加されたことを確認し、[自動的に開始]にチェックを入れ、[保存]をクリックします。



7 画面左上の[←]をクリックし、ホームに戻ります。

「セールス」のアプリケーションの下部のユーティリティバーに、「mitoco アプリケーション一覧」が表示されたことを確認します。



5 モバイル利用設定

5.1 モバイル利用設定① カスタム設定

mitoco のモバイルアプリケーションを利用する場合に必要な設定を実施します。

モバイルで使用する場合、事前に手続きが必要となります。テラスカイサポートセンターまでご連絡ください。(API キーを発行いたします)

■ mitoco に関するお問い合わせ(テラスカイサポートセンター)

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」―「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「カスタム設定」と入力し、[カスタム設定] をクリックします。

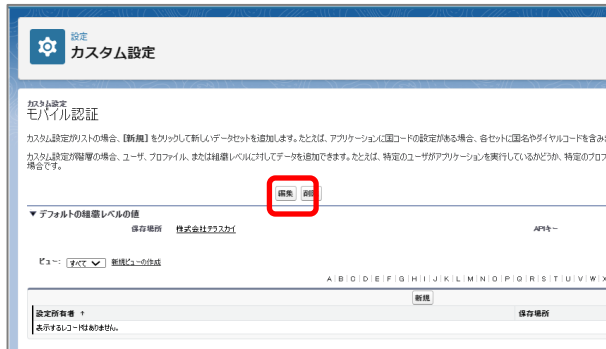
カスタム設定画面が表示されます。



- 3 カスタム設定画面にある、「モバイル認証」の[Manage]をクリックします。



4 モバイル認証画面にある[新規]もしくは[編集]をクリックします。



5 モバイル認証の編集画面で、「API キー」テキストボックスに、API キーを入力します。

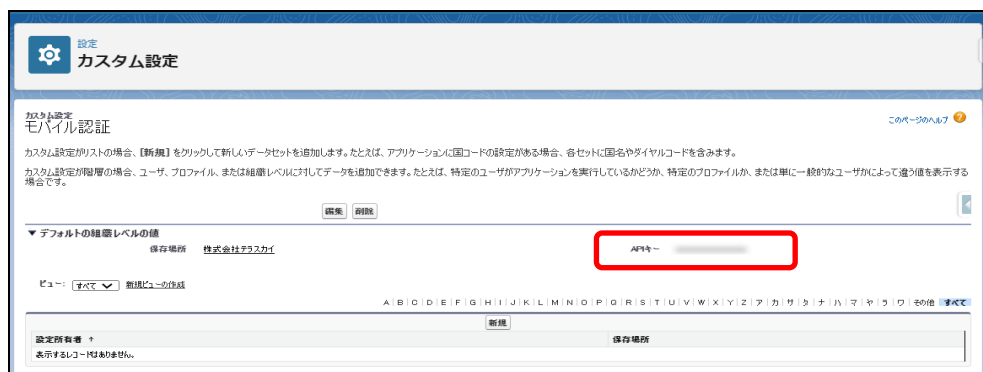


① 補足

- API キーはお申し込み時にご連絡しているメールに記載しております。ご不明な場合はテラスカイサポートセンターまでご連絡ください。
 ・mitoco に関するお問い合わせ(テラスカイサポートセンター)
<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

6 API キーを入力したら、[保存]をクリックします。

モバイル認証画面に API キーが記載されているのを確認ください。



5.2 モバイル利用設定② リモートサイトの設定

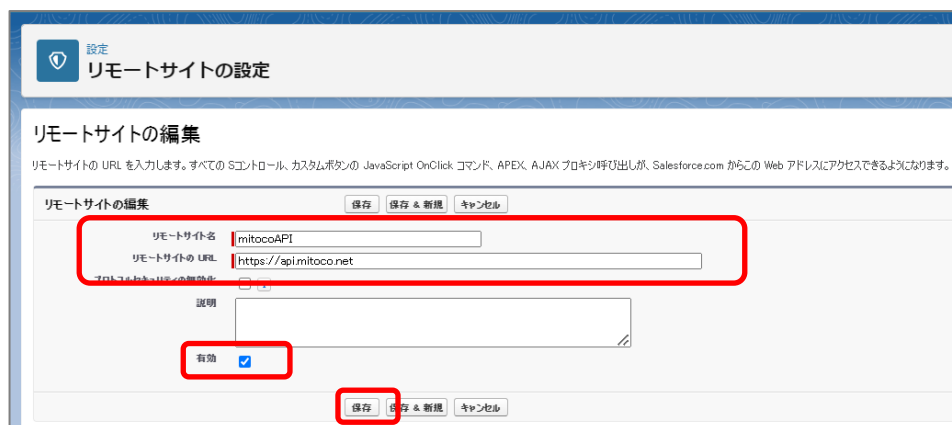
mitoco のモバイルアプリケーションを利用する場合に必要な設定を実施します。
 ※かんたんトライアルをご利用の場合、すでに設定されているので作業は不要です。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」―「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「リモートサイトの設定」と入力し、「リモートサイトの設定」をクリックします。
- 3 すべてのリモートサイト画面が表示されます。「新規リモートサイト」をクリックします。



- 4 「リモートサイトの編集」画面で、以下の値を設定して「保存」をクリックします。

リモートサイト名 : mitocoAPI
 リモートサイトの URL : https://api.mitoco.net
 有効 : チェックを入れる



左のサイドバーから「リモートサイトの設定」をクリックして、「すべてのリモートサイト」画面に戻ります。

5.3 モバイル利用設定③ モバイルアプリケーションの入手

mitoco には iOS, Android に対応した以下のモバイルアプリケーションがあります。

mitoco Mobile (モバイル統合アプリ)

- ・ mitoco Mobile は、mitoco 掲示板や mitoco カレンダー、mitoco ToDo、mitoco トーク、mitoco 申請 の内容をひとつのモバイルアプリで、確認することができます。
- ・ iOS 版は App Store から、Android 版は Google Play からダウンロードしてご使用ください
- ・ 推奨 OS バージョンの最新情報につきましては、以下のリンク先ヘルプをご覧ください

<https://d.terrasky.jp/mitocoPrerequisites>

5.4 モバイル利用設定④ PIN セキュリティ機能

PIN セキュリティ機能 利用開始設定について

・PIN セキュリティとは

対象モバイルアプリの起動時または一定時間の無操作が続いた場合に事前指定した PIN コードを用いて利用を可能にするモバイルアプリ自体のセキュリティ対策です。

デバイスの PIN 保護や Salesforce 組織が提供するログインセキュリティとは異なります。

PIN セキュリティをご利用いただくには、モバイルアプリが最新版であるとともに、Salesforce の設定から「接続アプリケーション」の設定にて、PIN コードに関する設定を実施する必要があります。

この設定方法につきましては、以下のリンク先の手順書をご覧ください。

mitoco モバイルアプリ PIN セキュリティの利用方法

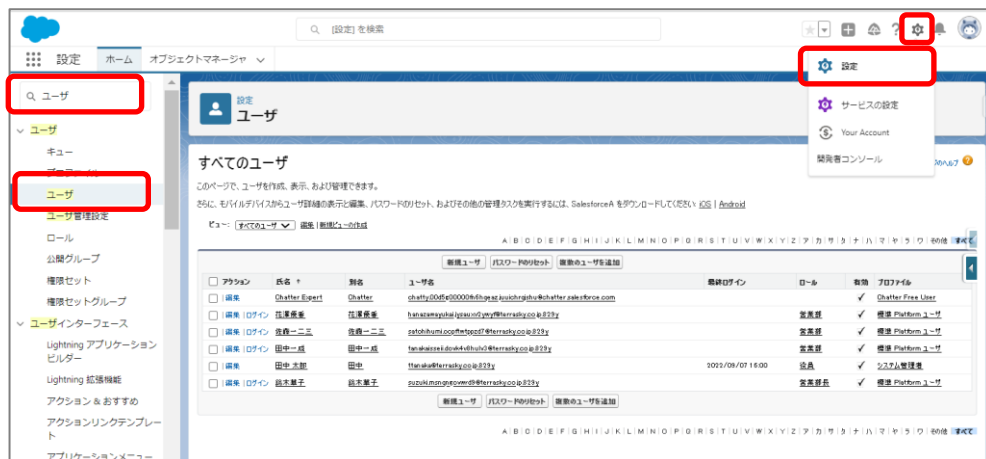
<https://d.terrasky.jp/mitocoConnApp>

6 ユーザの登録、設定

6.1 システム管理者向け設定

初期設定の操作をしているシステム管理者に、mitoco の管理者用権限の付与をします。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」―「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「ユーザ」と入力し、「ユーザ」の順にクリックします
すべてのユーザ画面が表示されます。



- 3 ビューを「管理者ユーザ」に変更します。
- 4 表示されたユーザー一覧から、初期設定操作をしているシステム管理者の「氏名」をクリックします。
- 5 プロファイルが「システム管理者」または、自組織内で作成したシステム管理者に準ずるカスタムプロファイルであることを確認します。

① 補足 「管理者ユーザ」ビューにシステム管理者が表示されない場合

- 「すべてのユーザ」ビューから現在ログインしているユーザを探し、「システム管理者」もしくは、システム管理者に準ずるカスタムプロファイルを設定してください。
- プロファイルを変更する場合、システム管理者に設定されているユーザでログインして設定が必要です。社内のシステム管理者へご相談ください。

- 6 画面を下にスクロールし、「権限セットの割り当て」エリアの「割り当ての編集」をクリックします。
- 7 利用可能な権限セットから「mitoco(Base)Administrator」、「mitoco (Collaboration)Administrator」を選択して、「追加」をクリックして、有効化された権限セットに移動させます。

8 [保存]をクリックします。

9 権限セットラベルに「mitoco(Base)Administrator」、「mitoco(Collaboration)Administrator」の2つが表示されたのを確認します。

システム管理者は権限セットを付与しなくてもほとんどの mitoco に関する操作が可能ですが、一部出来ない操作もありますので、必ず権限セットを付与してください。

続いて mitoco を利用するためのライセンスを付与します。

※ Sandbox ではこの操作は不要です。

10 システム管理者のユーザ設定画面を下にスクロールし、「管理パッケージ」の[ライセンスの割り当て]をクリックします。

11 「mitoco(Base)」「mitoco(Collaboration)」の2つにチェックを入れます。

12 選択済みパッケージに2つが表示されるので、[追加]をクリックします。

※[追加]をクリックすると、Salesforce の仕様でユーザの Chatter ユーザ情報のページに遷移します

13 再度、Salesforce の「設定」→「ユーザの管理」→「ユーザ」でユーザー一覧を開き、ビューを「管理者ユーザ」に変更して操作しているユーザ情報画面を表示します。

14 管理パッケージに「パッケージ名」に、追加した2つが表示されているのを確認します。

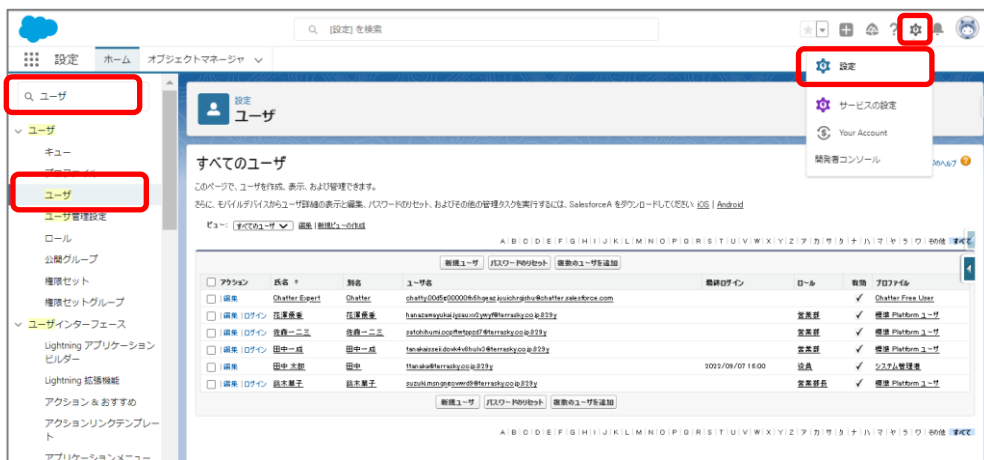
表示されていれば、設定は完了です。

6.2 新規ユーザの登録

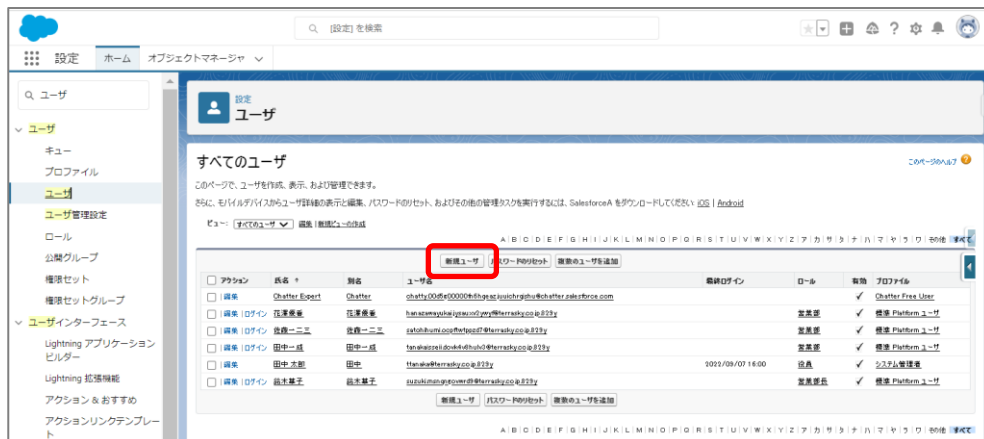
mitoco を利用するユーザを新規に作成します。すでに登録されているユーザを利用する場合には、この操作は不要です。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「ユーザ」と入力し、「ユーザ」の順にクリックします。

すべてのユーザ画面が表示されます。



- 3 「新規ユーザ」をクリックします。



4 新規ユーザ画面が表示されます。

赤いマークのある項目は必須項目です。項目を入力します。

項目	値
姓	利用者の姓を入力
名	利用者の名を入力
別名	利用者の姓+名を入力
メール	利用者のメールアドレスを入力
ユーザ名	利用者のメールアドレスを入力
ニックネーム	メールアドレスの「@」より前を入力
ロール	<未指定>※任意
ユーザライセンス	「Salesforce Platform」を選択 ※管理者の場合は「Salesforce」を選択
プロフィール	「標準 Platform ユーザ」を選択 ※管理者の場合は「システム管理者」を選択

- 5 画面を下にスクロールして【保存】をクリック、もしくは続けてユーザを登録する場合は【保存&新規】をクリックします。

パスワードリセット通知をその場ではない場合には、チェックを外してください

保存

以上でユーザーが登録されました。

※ 前画面にて【保存&新規】をクリックした場合は、続けて新規登録画面が表示されます。

田中次郎

ユーザーの詳細

名前	田中次郎	ロール	Salesforce Platform
別名	田中次郎	プロフィール	標準 Platform ユーザ
メール	tttttanaka@sample.com	有効	✓
ユーザー名	tttttanaka@sample.com	マーケティングユーザ	□
ニックネーム	tanaka	オフラインユーザ	□
役職		フローユーザ	□
会社名		Service Cloud ユーザ	□
部署		モバイル転送の登録	参照
ディビジョン		アラセキセキュリティモード (Classic のみ)	□
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		

タイムゾーン (GMT+09:00) 日本標準時 (Asia/Tokyo)

地域 日本語 (日本)

デバッグモード □

グラフの高コントラストパレット □

前画面で「パスワードをリセットしてユーザに通知する」のチェックを入れていた場合には、登録したメールアドレス宛に登録連絡通知が届きます。

※作成したユーザに対し、手順「[6.3.権限セットの付与](#)」と「[6.4. mitoco 利用ライセンスの付与](#)」の設定を行います。



6.3 権限セットの付与

mitoco では権限セットをユーザ毎に付与することで、機能やレコード毎の個別アクセス権を一括で設定することができます。

用途によって、必要な権限セットを選択して付与してください。

権限セットは mitoco バージョンアップで権限内容が変更になる場合があります。

権限セットをカスタマイズしてご利用いただく場合は、**バージョンアップごとに、標準の権限セットから再作成してご利用ください。**

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] の順にクリックします。

権限セットと権限セットグループがありますので、間違わないように気を付けてください。



3 権限セットラベルの一覧から付与したい権限セットをクリックします。

権限セットは次のページにてご確認ください。

一般ユーザ向け権限セット

権限セット名	用途
mitoco(Base) User	一般ユーザ用の、mitoco ホーム/アドレス帳/アプリケーション設定を利用するための権限セット ※一般ユーザには付与が必須
mitoco(Collaboration) User	一般ユーザ用の、mitoco 掲示板/ToDo/トーク/カレンダー/文書管理を利用するための権限セット
mitoco Application	一般ユーザー用の、「mitoco」アプリケーションを利用するための権限セット

システム管理者、および一般ユーザの mitoco 個別機能管理者向け権限セット

権限セット名	用途
mitoco(Base) administrator	システム管理者用の、mitoco ホーム/アドレス帳/アプリケーション設定を利用するための権限セット ※システム管理者には付与が必須
mitoco(Collaboration) administrator	システム管理者用の、mitoco 掲示板/ToDo/トーク/カレンダー/文書管理を利用するための権限セット
mitoco(Collaboration) Calendar Facility Manager	一般ユーザが、mitoco カレンダーで施設管理機能を利用するための権限セット

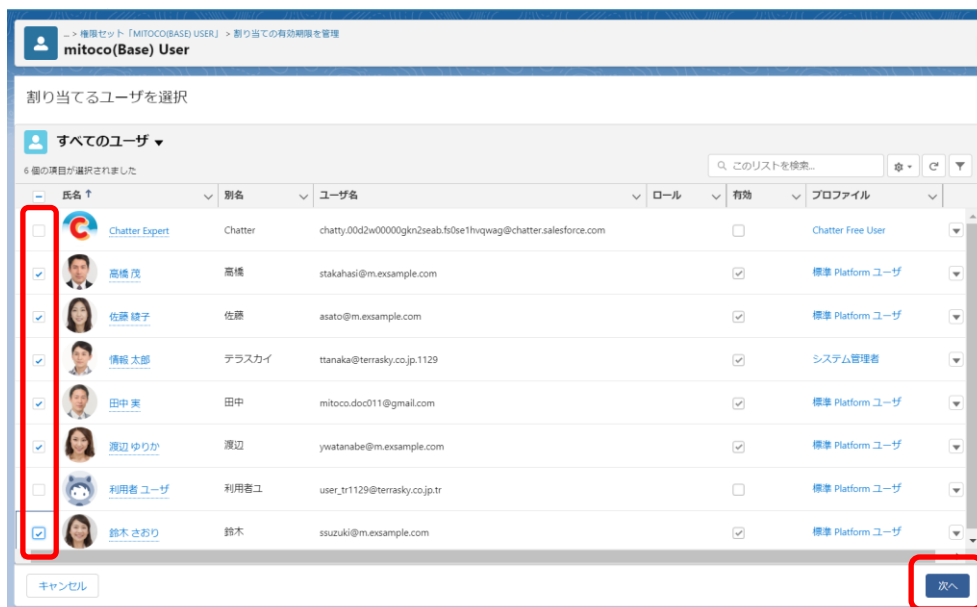
4 [割り当ての管理]をクリックします。



5 [割り当てを追加]をクリックします。



6 表示されたユーザー一覧から付与したいユーザに対してチェックボックスにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



7 「割り当てられたユーザの有効期限オプションを選択」画面で、[有効期限なし]を選択します。

割り当てられたユーザの有効期限オプションを選択

☒ 有効期限なし

1日 1週間 30日間 60日間 カスタム日付

タイムゾーン
タイムゾーンを選択

氏名	ロール	プロフィール	有効	ユーザライセンス	有効期限
情報 太郎		システム管理者	✓	Salesforce	Never Expires
田中 美		標準 Platform ユーザ	✓	Salesforce Platform	Never Expires
高橋 茂		標準 Platform ユーザ	✓	Salesforce Platform	Never Expires
鈴木 さおり		標準 Platform ユーザ	✓	Salesforce Platform	Never Expires
渡辺 ゆりか		標準 Platform ユーザ	✓	Salesforce Platform	Never Expires
佐藤 綾子		標準 Platform ユーザ	✓	Salesforce Platform	Never Expires

8 右下の[割り当て]をクリックします。

状況に「Success」と表示されたことを確認し、右下の[完了]をクリックします。

氏名	ユーザライセンス	有効期限	タイムゾーン	状況
情報 太郎	Salesforce			Success
田中 美	Salesforce Platform			Success
高橋 茂	Salesforce Platform			Success
鈴木 さおり	Salesforce Platform			Success
渡辺 ゆりか	Salesforce Platform			Success
佐藤 綾子	Salesforce Platform			Success

9 左のサイドバーから[権限セット]をクリックして、「権限セット」画面に戻ります。

設定 ホーム オブジェクトマネージャ

権限セット

権限セット

このページでは、権限セットの作成
さらに、SalesforceA モバイルアプリ

[すべて] [編集] [削除] [新規]

同様の作業で、付与する権限セットについて、割り当てをしてください。

6.4 mitoco 利用ライセンスの付与

■ mitoco に正式お申込みいただいている場合のご注意事項

Salesforce の本番組織に mitoco をインストールされた時点では、mitoco ライセンスは以下の状態になっています。

有効期限	: インストールした日より 30 日後の日付
許可されているライセンス数	: 5 ID

本番組織に対してご発注いただいた内容(有効期限、ライセンス数)を反映させるためには、お客様による mitoco のインストールが完了後に、テラスカイにて設定を行う必要がございます。

そのため、**本番組織に mitoco をインストールする予定日を、事前に以下メールアドレス宛にご連絡ください。**

テラスカイ 製品営業部

product.sales@terrasky.co.jp

ご指定いただいた**インストール予定日の翌日**に、テラスカイにてご発注いただいた内容を**本番組織に反映いたします。**

※インストール予定日のご連絡は、予定日の 2 営業日前までにテラスカイまでご連絡ください。

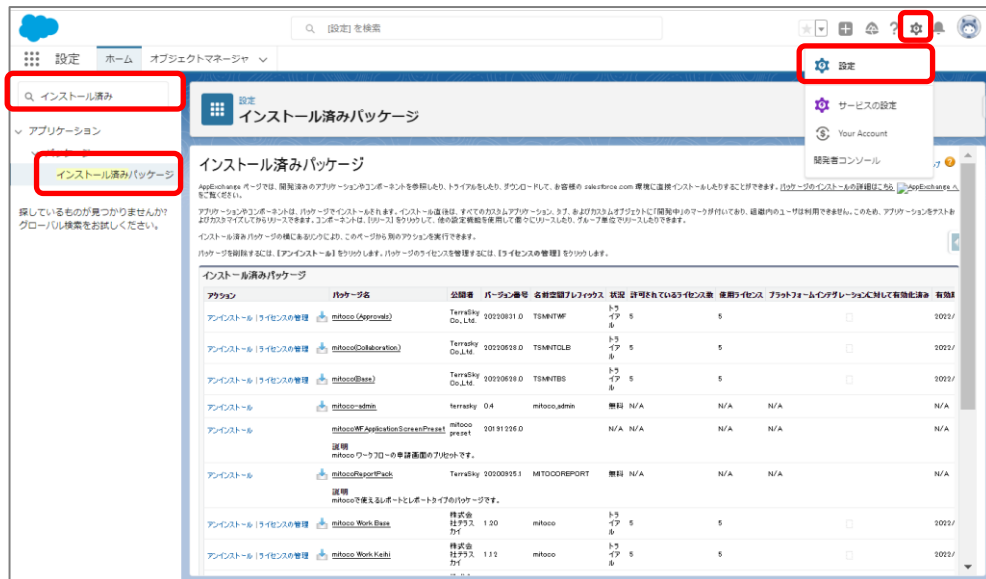
※テラスカイが設定を実施する時間帯は、営業日の 10:00-18:00 の間となります。

※インストール予定日に変更となった場合、インストール予定日にインストールが完了できなかった場合には、上記メールアドレス宛にご連絡ください。

mitoco を起動するためにはユーザ毎にライセンスを付与する必要があります。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「インストール済み」と入力し、[インストール済みパッケージ]の順にクリックします。

インストール済みパッケージ画面が表示されます。



- 3 「mitoco(Base)」の[ライセンスの管理]をクリックします。



4 表示された画面の中央にある、[ユーザの追加]をクリックします。



5 ユーザー一覧から、追加したいユーザのチェックボックスにチェックを入れ、[追加]をクリックします。mitoco を利用するユーザすべてを選択してください。



① 補足

- 契約ライセンス数を超えるユーザは追加できません。ご注意ください。

ライセンスが付与されたユーザー一覧が確認できます。

左上の「前のページに戻る」をクリックし、インストール済みパッケージ画面に戻ります。

パッケージの詳細
mitoco(Base)

前のページに戻る

プラットフォームインテグレーションに対して有効化

パッケージ名	mitoco(Base)	公開者	TerraSky Co., Ltd.
状況	トライアル	許可されているライセンス数	5
有効期限	2022/10/07	使用ライセンス	5

プラットフォームインテグレーションに対して有効化済み

ライセンスを付与したユーザー	ユーザー追加	権限ユーザーを削除
アカウント 氏名	ロール	有効
田中 俊彦	管理者	✓
田中 俊彦	管理者	✓
田中 俊彦	管理者	✓
田中 俊彦	管理者	✓
田中 俊彦	管理者	✓
田中 俊彦	管理者	✓

同様の手順で、「mitoco(Collaboration)」のライセンスも付与ください。

インストール済みパッケージ

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコンポーネントを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたりすることができます。パッケージ

アプリケーションやコンポーネントは、パッケージでインストールされます。インストール後は、すべてのカスタムアプリケーション、タブ、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付いており、組織内のユーザーは利用できません。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズしてからリリースできます。コンポーネントは、「リリース」をクリックして、他の設定機能を使用して簡単にリリースしたり、グループ単位でリリースしたりできます。

インストール済みパッケージの横にあるリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、【アンインストール】をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、【ライセンスの管理】をクリックします。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	状況	許可されているライセンス数	使用ライセンス	プラットフォームインテグレーションに対して有効化
アンインストール	mitoco(Application)	TerraSky Co., Ltd.	20230201.0		N/A	N/A	N/A	N/A
アンインストール ライセンスの管理	mitoco(Collaboration)	TerraSky Co., Ltd.	20250724.0	TSMNTCLB	トライアル	5	1	☐
アンインストール ライセンスの管理	mitoco(Base)	TerraSky Co., Ltd.	20250724.0	TSMNTEBS	トライアル	5	1	☐
アンインストール ライセンスの管理	mitoco Workflow	株式会社クラウド	0.20	mitoco	トライアル	5	1	☐
アンインストール ライセンスの管理	mitoco Work Base	株式会社クラウド	2.3.1	mitoco	トライアル	5	1	☐

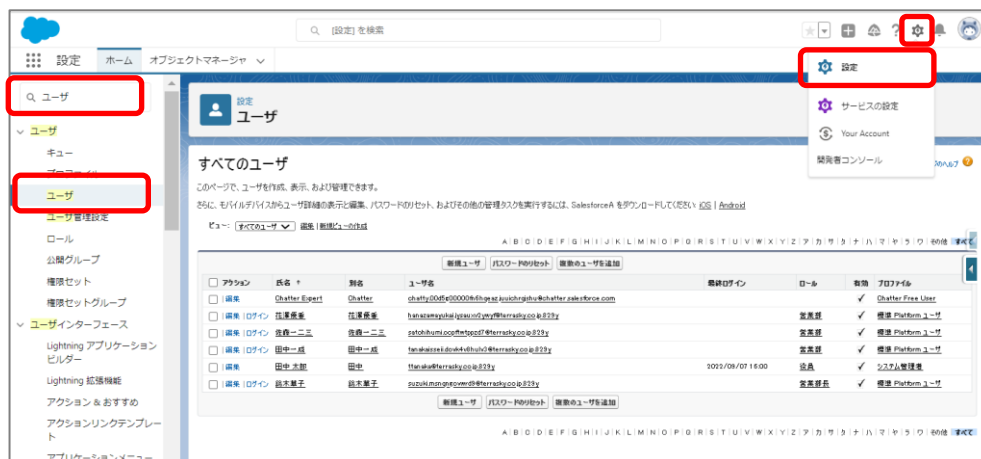
7 mitoco の運用管理

7.1 ユーザの無効化

ユーザの退職時など、ユーザーアカウントが不要になった場合は、Salesforce では作成したユーザを削除せずに、利用しないユーザを「無効化」します。

無効化したユーザの書き込みやスケジュールは継続して mitoco 上に残ります。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「ユーザ」と入力し、[ユーザ] の順にクリックします。
- 3 すべてのユーザ画面が表示されます。



- 4 無効化したいユーザの[編集]をクリックします。



5 「有効」チェックボックスからチェックを外し、[保存]をクリックします。

このページのヘルプ

認定 ユーザ

田中一成

ユーザの編集

保存 & 新規 キャンセル

一般情報

姓 田中一成

名

別名 田中一成

メール tanakaissei@example.com

ユーザ名 tanakaissei.dovk4v@hulu.com

ニックネーム tanakaissei@mitocotrial.com

役職

会社名 株式会社テラスカイ

部署

デバイス

ロール 営業部

ユーザライセンス Salesforce Platform

有効 ☒

マルチファクタ認証

オフラインユーザ

フローユーザ

Service Cloud ユーザ

アダプティブモード (Classic のみ)

グラフの高コントラストパレット

6 確認ダイアログが出るので[OK]をクリックします。

...my.salesforce.com に埋め込まれているページの内容

ユーザを無効にすると、そのユーザが属するすべての代理グループおよび共有権限から削除されます。次のページで、このユーザをどのチームからも削除するように要求されます。ただし、このユーザが所有するレコードを他のユーザに移行したり、ユーザ管理画面からこのユーザを参照することは可能です。

OK

※ユーザー一覧ではビューによって表示させるユーザを切り替えることができます。ビューが「有効ユーザ」となっている場合には無効化したユーザは表示されません。

無効化したユーザを確認したいときは、ビューの「有効ユーザ」を「すべてのユーザ」に変更してください。

設定 ユーザ

すべてのユーザ

このページで、ユーザを作成、表示、および管理できます。

さらに、モバイルデバイスからユーザ詳細の表示と編集、パスワードのリセット、およびその他の管理タスクを実行するには、Salesforce A をダウンロード

ビュー: すべてのユーザ ▼ 編集 新規ビューの作成

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M

新規ユーザ パスワードのリセット 複数のユーザを追加

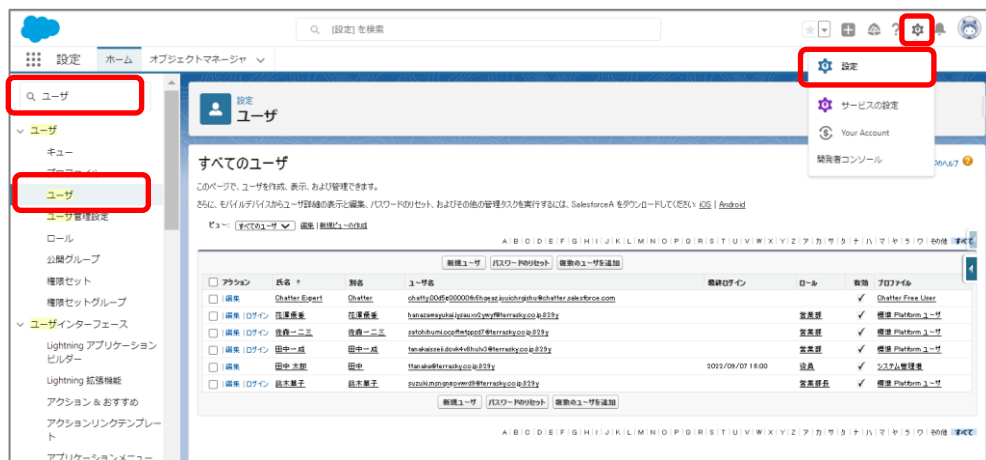
アクション	氏名 ↑	別名	ユーザ名
☐ 編集	Chatter Expert	Chatter	chatty00d5e00000f6hgeazjuichrgjshu@chatter.salesforce.com
☐ 編集 ログイン	花澤 優希	花澤 優希	hanazawasyukaijsauo2ywyf@terrasky.co.jp823y
☐ 編集 ログイン	佐藤 一二三	佐藤 一二三	satohihumi.ocpfwtppzd7@terrasky.co.jp823y
☐ 編集 ログイン	田中 一成	田中 一成	tanakaissei.dovk4v@hulu.com

7.2 ユーザのパスワード変更

「6.2 ユーザ登録」で作成したユーザがパスワードを紛失し、ログインできなくなった場合、システム管理者が以下の手順でパスワードをリセットすることができます。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「ユーザ」と入力し、[ユーザ] の順にクリックします。

すべてのユーザ画面が表示されます。



- 3 対象のユーザにチェックをつけて[パスワードのリセット]をクリックします。



4 確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



設定後、対象ユーザのメールアドレスに「件名:mitoco パスワードリセット完了」が届きます。対象のユーザへ連絡し、メールの確認とメールに記載された URL からパスワードの再設定ができることを伝え、確認を依頼してください。



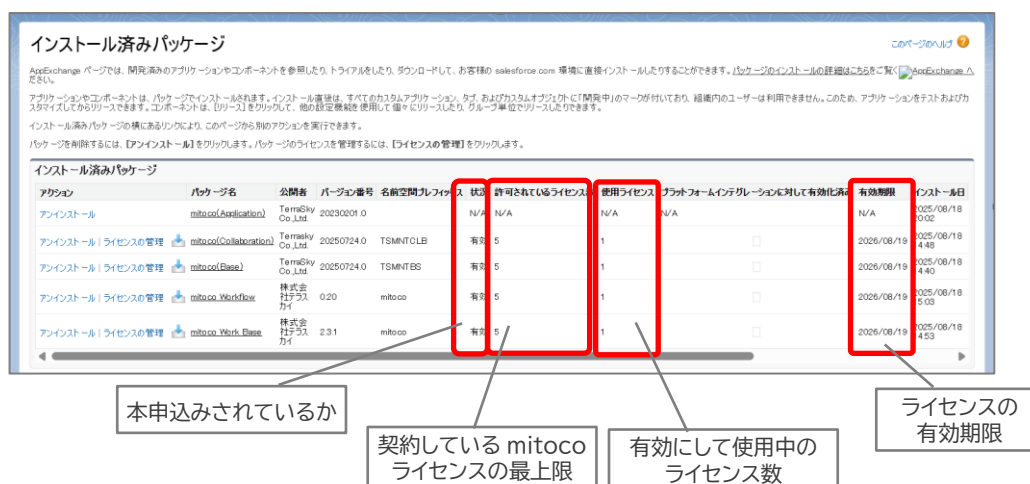
7.3 ライセンス数管理

mitoco ライセンスについて、現在何ライセンス契約していて何ライセンス有効化して利用しているかを確認します。

- 1 [設定(右上の歯車マーク)]>[設定] をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「インストール済み」と入力し、[インストール済みパッケージ]の順にクリックします。
- 3 インストール済みパッケージ画面が表示されます。



- 4 インストール済みパッケージ一覧から、ライセンスの利用状況が確認できます。



7.4 ストレージ利用量管理

「組織のディスク使用量」から、ストレージの利用状況が確認できます。

- 1 「設定(右上の歯車マーク)」>「設定」をクリックします。
- 2 左上のクイック検索ボックスに「組織のディスク使用量」と入力し、[組織のディスク使用量]の順にクリックします。
- 3 組織のディスク使用量画面にて、ストレージの利用状況が確認できます。

組織のディスク使用量

組織が使用しているディスク容量です。

ストレージの種類	使用制限	使用	使用率
データストレージ	10.4 GB	1.2 MB	0%
ファイルストレージ	13.8 GB	6.7 MB	0%
Big Objects ストレージ	1,000,000	0	0%

現在のデータのディスク使用量

レコードタイプ	レコード件数	ストレージ	パーセント
取引先責任者	145	290 KB	23%
取引先	95	190 KB	15%
AppDefinition	32	64 KB	5%
NotificationDefinition	30	60 KB	5%
Transitions	21	42 KB	3%
mitocoページレイアウト 詳細	14	28 KB	2%

8 その他

8.1 バージョンアップについて

- ・ mitoco では年 2～3 回のメジャーバージョンアップを予定しております。
- ・ セキュリティホール対策や Salesforce の仕様変更対応などでマイナーバージョンアップする場合がございます。
- ・ Salesforce のバージョンアップ(Spring、Summer、Winter)の仕様変更により、mitoco の稼働に問題が出る場合は、バージョンアップして対応します。
その場合は、提供されたバージョンアップは適用が必須となります。
- ・ バージョンアップ時には、ご契約時にサポート窓口担当者様としてご登録いただいた管理者様のメールアドレス宛にご連絡いたします。



製品サポート

製品情報

<https://www.mitoco.net/>

活用事例

<https://www.mitoco.net/tips/>

製品ユーザーガイド

<https://d.terrasky.jp/mitocoUserGuide>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

mitoco インストール初期設定マニュアル Ver.1.1

発行日：2026 年01 月 07 日（第 3 版）